

令和2年6月22日

桑折町議会
議長 片平 秀雄 様

総務文教常任委員会
委員長 斉藤 謙

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

予算編成方針と予算編成のあり方について

2 調査目的

総合計画の推進と健全財政確立のため

3 調査の経過

□令和元年11月5日

閉会中の所管事務調査の今後の進め方について協議・検討を行った。

□令和元年11月12日

調査事件の今後の進め方について、協議・検討を行った。

□令和元年11月25日

調査事件について、協議・検討を行った。

□令和元年12年19日

調査事件の進め方について、協議・検討を行った。

□令和元年12月24日

長野県飯綱町視察時の質問事項について、協議・検討を行った。

- 令和2年1月15日～16日
長野県飯綱町議会視察研修を実施した。
- 令和2年1月23日
調査事件について、協議・検討を行った。
- 令和2年2月6日
総務課長、生活環境課長の出席を求め、平成31年度「町の事業と予算」記載の主な事業の進捗状況等について質疑応答を行った。
- 令和2年2月14日
こども教育課長、生涯学習課長の出席を求め、平成31年度「町の事業と予算」記載の主な事業の進捗状況等について質疑応答を行った。
- 令和2年2月18日
総務課長、税務住民課長の出席を求め、平成31年度「町の事業と予算」記載の主な事業の進捗状況等について質疑応答を行った。
- 令和2年4月14日
総務課長に出席を求め、予算編成の考え方等について質疑応答を行った。
- 令和2年4月23日
総務課長に出席を求め、前回質疑の答弁等について、回答を受け質疑応答を行った。
- 令和2年5月12日
経常収支比率の実態と改善策について、協議検討を行った。
- 令和2年6月2日
調査事件の調査報告書について、協議検討を行った。
- 令和2年6月9日
調査事件の調査報告書について、協議検討を行った。
- 令和2年6月16日
調査事件の調査報告書について、協議検討を行った。

□令和2年6月18日

調査事件の調査報告書について、協議検討を行った。

4 調査結果

平成31年度以降の予算編成方針は、重点施策を打ち出しながらも予算規模等及び基本となる指標の経年的数値（グラフ化等）は示されていない。また、現段階における当町の問題点、原因、改善課題等に取り組む視点が不明瞭であり、形式も内容も簡素化され、説明に欠けるものと考えられる。

- (1) 予算編成方針は、歳入総額の見込額、義務的経費等充当見込額、政策的経費充当見込額を明確にすること。
- (2) 予算編成方針は、歳入に関して、4大歳入財源（地方税、地方交付税、国・県支出金、地方債）を中心に、収入科目毎に国の概算要求や県の予算編成動向等を勘案し、積算し積上げること。
- (3) 予算編成方針は、歳出に関しては、義務的事務執行費をはじめとする経常経費等充当見込額を前年度決算額を踏まえ、積算し積上げること。
- (4) 経常収支比率が95.2%（平成30年度・減収補填債等除く）と財政構造の硬直化が類似団体と比較しても高く、各種事業の財源確保が容易でない状況となっていることから、性質別費目毎の比率改善のための分析を行い、各改善施策を具体的に示した取り組みを行い、よって、住民福祉向上のための財源確保を図ること。
- (5) 全国の自治体では関係部局の査定方式から各要求部局が自ら予算編成していく方式への転換が進んでいる枠配分方式が採用されている傾向が窺われることから、事務事業の成果向上を目的とするならば、予算要求部局に予算編成を任せる（分権化）という考え方も研究・検討の対象とすること。
- (6) 今後の予算編成時は、これまでの「予算対予算」の予算編成のあり方から、前年度決算審議を踏まえた「決算対予算」の編成に重点を置いた取り組みを行うこと。
- (7) 各数値に関しては、誰しものが分かり易くするために、経年的推移のグラフ化で表示すること。

以上の事柄について、更なる充実強化を図られたい。